

東海地区協議会 2020年度
運営専務 ご挨拶

運営専務 柴田郷史

私たちが住み暮らす東海地区は、歴史、文化、伝統が各地に散在しており、経済環境、交通インフラ網においても恵まれた地域であると考えます。しかし、変化が激しく、先行きが不透明な現在において、現状に満足し立ち止まってしまえば、地域が衰退する可能性は大いにあります。そのような中で、住み暮らす人が将来に希望をもて、可能性が溢れる地域として発展していくためには、今後の地域社会を担っていく私たちが、目の前の問題に取り組むだけではなく、未来を想像し、時代に先駆けた運動に多くの人を巻き込み、時代を切り拓く存在として地域を牽引していくことが必要だと考えます。

私は運営専務として、希望溢れる東海の創造に向け、日本J Cとの円滑な連絡調整を図り、迅速に各ブロック協議会や東海地区内82会員会議所に情報発信を行うとともに、日本J Cの運動を、各地会員会議所が地域に即した形で導入できるよう支援を致します。そして、公益社団法人として、適切な会計処理を行うために予算、決算を厳密に管理することで、これからも地域から信頼される組織を目指し、努めて参ります。また、各ブロック協議会との連絡を密にとることで相互理解を深め、つながりをより強固なものとし、それぞれの事業展開を支えあえる関係性を築いて参ります。さらに、これまで先輩諸兄姉が築きあげてこられた歴史に胡坐をかくことなく、「温故創新」の信念をもって、これまでの歴史を精査し、進化させていくことで、次代を見据えた効率的且つ効果的な組織運営を行って参ります。

最後となりますが、東海地区内82会員会議所から自覚と責任をもって出向いただきましたメンバーの皆様と、共に活動させていただけることに敬意を払い、東海地区協議会の運営はもとより、日本青年会議所及び各ブロック協議会、東海地区内82会員会議所との架け橋として誠心誠意努めて参ります。一年間どうぞ宜しくお願い致します。